



# 神小たより

ホームページアドレス <http://kamiyama-es.agano.ed.jp/>

阿賀野市立神山小学校

学校だより 2月号

保護者・地域版

H29. 2. 10



## 「助けを求めることは、立派な能力の一つです」

校長 鈴木 正彦

連日寒い日が続いています。そんな中でも、神山小学校の子どもたちは、毎日学習に運動に、全力で取り組んでいます。そんな姿をほほえましく、そして、たくましく感じている毎日です。

さて、先日私（校長）はとてもうれしい経験をしました。1月15日（日）の朝7時ごろのことです。その日、私は子どもが試験を受けるため、子どもを試験会場まで車で送りました。途中、コンビニエンスストアに寄り買い物を済ませ、再び車に乗り駐車場を出るときのことでした。そのコンビニエンスストアの駐車場はとても大きく、道路へ出る出口付近には雪が積もっていました。通り抜けられるかなと思いましたが、なんとすっぽりタイヤが雪にはまってしまい、車が動かなくなっていました。なんとか動かそうと試みましたが、動く気配はありません。天候や道路状況を考えると、そこから試験会場までは1時間くらいかかり、試験時間も気になり始めました。「どうしよう」、悩みました。ふと、周囲を見渡すと、コンビニエンスストアから出てくる人、入ろうとする人が目に入りました。すかさずかけ寄りお願いしました。



「車が雪にはまって動きません。申し訳ございませんが、車を押して

いただけませんか。実は、子どもは○時から試験を受けなければなりません。」

確か5～6人だったでしょうか、声をかけたすべての人が快く申し出に応じ、車を押してくれました。すぐに雪から脱出できたことは言うまでもありません。私は、手伝ってくれた方々に深々とお辞儀をしながら、「ありがとうございました。」と感謝しました。

この体験をとおし、子どもたちには2つのことを伝えました。

- 1 困ったときは、助けを求めること。  
助けを求めることは、立派な能力の一つであること。
- 2 助けを求めたりお願いごとをするときには、理由を添えること。

一生懸命試みたあとやとうてい一人では不可能なこと、心や体が傷つくことを言われたりされたりして辛いときなど、助けを求めることは当然です。一人で抱えず遠慮無く相談しましょう。また、助けを求めたりお願いごとをするときには、理由を付け加えることを忘れないようにしましょう。理由を付け加えると、ただ助けを求めたりお願いするより、相手がそのお願いをきいてくれる確率が、格段に上がるそうです。

加えて、今回助けてもらった私は、次同じようなことや困っている人に出会ったら、「必ず助けてあげたい。」という気持ちを、今まで以上に強くもちました。感謝の気持ちはどんどん広がります。

さて、2月は1月と争い、1年で最も気温が低く寒さの厳しい季節となります。2月の異称を「如月（サラギ）」というのは、寒さをしのいで、衣（キヌ）を更（サラ）に着る「着更着（キサラギ）」から来ています。風邪やインフルエンザも流行するのもこの時期です。手洗い、うがい、好き嫌い無く何でも食べる、体を冷やさない、十分な睡眠を取るなどに心がけたいものです。特に睡眠は大切です。私たちの身体は、夜寝ているときに疲れを取ったり、けがをした部分を修復したりします。睡眠時間が短いと、身体を十分に回復させることができません。十分な睡眠を取っていないと、気持ちが落ち込み不安になったり、様々な病気にかかりやすくなったりするとも言われています。睡眠はそれほど大切なものです。

また、2月は、草木が春に向けて準備をし始める月といわれています。草木の張り出す月「草木張月（クサキハリヅキ）」に由来すると言われています。草木が春に向けて準備をし始めるように、神山小学校のみなさんも、4月からの進級、進学に備えて、1年の締めくくりをしっかりと意識して、学習や運動に取り組んでいきましょう。